

## 浮気ではないかという話題が生じる場合の対応

訪問看護を利用できないか介護支援専門員に相談する	<input type="checkbox"/> 訪問看護サービスを定期的に利用し、本人の不安を受け止めてもらうようにする <b>POINT!</b> 地域によっては、本人の不安の軽減のために、訪問看護を利用できる場合があります。介護支援専門員（ケアマネ）に相談してみるとよいでしょう。
家族が危険を感じる時はいったん距離をとる	<input type="checkbox"/> ショートステイを利用する <input type="checkbox"/> 一時的に本人は家にいてもらい、配偶者は親せきの家で過ごす <b>POINT!</b> 双方の気持ちが高ぶっていいあいになり、状況が悪化する場合は、気持ちやかかわり方を整理するために一時的に距離を置く場合もあります。



～こんなこともありました（介護職員からの情報提供）～

浮気をしているとおっしゃる認知症の人に、「同じ体験がある」と相談をしました。そうするとその認知症の人が「あなたの勘違いじゃないの？」などと諭してくれました。その後、本人の浮気をしているという訴えは少しずつ減っていきました。話を聞いてもらえた感じや役に立った感じが安心感につながったかもしれません。

# 笑顔で過ごしたい

## 認知症の人と家族のための暮らし方のヒント



### ⑧ パートナーへの疑いの気持ちが強いときは？

こんな場面ありませんか？

・「浮気ではないか」などの話題が生じる



この冊子では、現場での実践や支援の知を参考に認知症の人と家族がとともに暮らすときのヒントをまとめています。

■順番に読む必要はありません。気になるところから使えます。

■すべてを行う必要はありません。合うものだけ選べます。

■うまくいかないときは、やり方を変えても大丈夫です

本冊子は、国立研究法人「医療研究開発機構（AMED）」の認知症開発研究費「血液バイオマーカーと神経画像検査による BPSD の生物学的基盤の解明、および認知症者の層別化に基づいた BPSD ケア・介入手法の開発研究」の分担研究「BPSD ケアレジ研究と J-BIRD-PNB における非生物学的収集項目決定と質管理」の成果物として作成しました。

本冊子の作成にあたっては、認知症介護研究・研修仙台センター開発「初めての認知症介護」の構成を参考にしました。

Q. どうして浮気ではないかと気になってしまうことがあるの？



## A1. 背景には不安があります

いろいろなことが出来なくなった自分・わからなくなった自分と配偶者とを比較して、見捨てられるのではないかと不安を感じていることが指摘されています。

### 試してみたいこと

#### 大切にされていると感じてもらう

訴えを否定せずに、受け止めることが基本です。加えて、本人が大切にされていると感じられるような機会を増やすようにします。

#### 役に立っていると感じてもらう

何か役に立つことをして、「ありがとう」「〇〇してもらえて助かった」などと伝え、自信がつくようにする方法が考えられます。また、一人の時間が多いとあれこれと考えたりします。本人の活動の場を増やしてつながりが増えると気持ちに余裕が生まれます。

## A2. わからないこと、できないことが増えてきているから

できないこと・わからないこと、失敗が増えると、自分に対する自信がなくなってきて、見捨てられないかといった不安が強くなる可能性があります。

### 試してみたいこと

#### できないことをさりげなく手伝う

わからないことやできないこと、失敗していることなどをサポートできないか考えます。少し前までしていたけれどもできなくなったことなどはないでしょうか。少し手伝いながら、自分でできるようになると自信につながります。

### ワンポイント

・浮気しているなんて言われて残念。  
⇒おっしゃる通りと思います。話を聞いてもらえる友人や親せき、家族の会、認知症カフェなどで気持ちを聞いてもらうことをお勧めします。  
⇒浮気をしていると思うのは、愛情の裏返しでもあります。配偶者のことを大切に思うから、浮気していないか気になり、不安になります。認知症の人が夫や妻を大切に思っているからこそ、訴えが強くなるという見方もできます。

### おすすめしない伝え方



#### ■何言ってるの、そんなわけないだろなどと強く否定する

強く伝えると、頑なになる人もいます。本人が落ち込んだり、ふさぎ込んだり、暴力的になるきっかけになることがあります。事実を訂正するのではなく、不安が減るように工夫します。

### 試してみたいこと

#### 浮気ではないかとの話題が生じる場合の対応

安心できるような関わり	<input type="checkbox"/> 別に寝ている場合は夫婦で一緒の部屋で寝るようにする <input type="checkbox"/> 本人にとって配偶者が何をしているかわからない時間を減らす <p><b>POINT!</b> 本人が浮気している、と考えてしまう理由の一つに、自分は施設に入れられるんじゃないかなどと言った見捨てられないかという不安があることが知られています。安心できるようなかわりを工夫します。</p>
否定をせずに受け止める	<input type="checkbox"/> 否定をせず話を聞く <p><b>POINT!</b> 大きなストレスになるのはいけません、話を聞きつづけることで本人が落ち着いてくる場合があります。</p>
人付き合いを少し広げる工夫をする	<input type="checkbox"/> 親戚にこまめに顔を出してもらう <input type="checkbox"/> 外に出て人に会う機会を作る <input type="checkbox"/> デイサービスを利用する <p><b>POINT!</b> 人付き合いの範囲が夫婦と専門職のみなど、狭くなると生活がマンネリ化していい夫婦関係も築きにくくなります。日常的に交流する人が増えるように工夫してみるとよい場合があります。</p>

